

- 1 学年 3 学年
- 2 教材 アニメ「魔女の宅急便」（スタジオジブリ作品）、プリント、新詳地理B
- 3 単元名 世界の気候
- 4 単元目標 世界の気候について、気候要素と気候因子の関係から、その成り立ちを考察し、それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考察する。
- 5 単元指導計画

気候の成り立ち（気候要素と気候因子）	2 時間
ケッペンの気候区分	2 時間
アニメから気候区分を考える	1 時間（本時）
樹林気候	2 時間
無樹林気候	1 時間

6 単元の評価計画（評価規準）

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
世界の気候について、気候要素と気候因子の関係から、さまざまな気候が成り立つことの考察を基に、各気候区の特徴や農業など人間生活への影響に対する課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	世界の気候について、気温、風、降水といった気候要素と緯度、水陸分布などの気候因子の関係から、気候の成り立ちを系統地理的に捉える視点や考察方法を基に、各気候区の分布や農業など人間生活への影響を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している	世界の気候と人間生活への影響に関するデータや写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択し、これを基に、世界の気候の特徴と農業など人間生活への影響について読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の気候の成因、各気候区の特徴について、系統地理的に捉える視点や考察方法、人間生活への影響などを理解し、その知識を身につけている。

- 7 本時の目標

身近にあるアニメーションを利用して、気温、降水量のデータではなく、景観からケッペンの気候区分の判定をする。

ジグソー法を活用し、他のグループとの意見を交換しながら最終的な結論をまとめる。

8 本時の学習展開

段階 配当時間	学習内容・学習活動	学習活動の支援・指導上の留意点・観点別評価
導入 10分	ケッペンの気候区分について復習する。	データ（月平均気温・月降水量）で区分してきたことを確認。これまでの資料を見ながら復習させる。 関・思・知
展開1 10分	3～4人グループを作る。 「魔女の宅急便」の一部を視聴し、この舞台となった場所の気候区分を予想する。	主体性をもたせるために、これ以上の人数とはしない。 町並みの様子、植生、人々の服装などを参考に予想させる。必ず根拠を示すことに注意する。
展開2 10分	グループを解体して別のグループを作る。 意見交換をして、最終的な結論を導き出す。	移動の際のルールを説明する。 互いの答えとその根拠を検討させる。
展開3 15分	最初にグループに戻り、展開2の結果をふまえて、考えの修正や追加を行う。グループの代表が発表する。発表に対する質疑応答。	ほぼ同じ結論が導き出されるはずであるが、特徴的な意見をもったグループを指名して発表させる。異なる視点からの考え方があることに気づかせる。 関・思・技・知
まとめ 5分	データと景観の関係を理解する。	今後の学習（気候区の特徴）を読み解くために、景観と気候の関係を理解しておくことが大切であるということを認識させる。

地理プリント

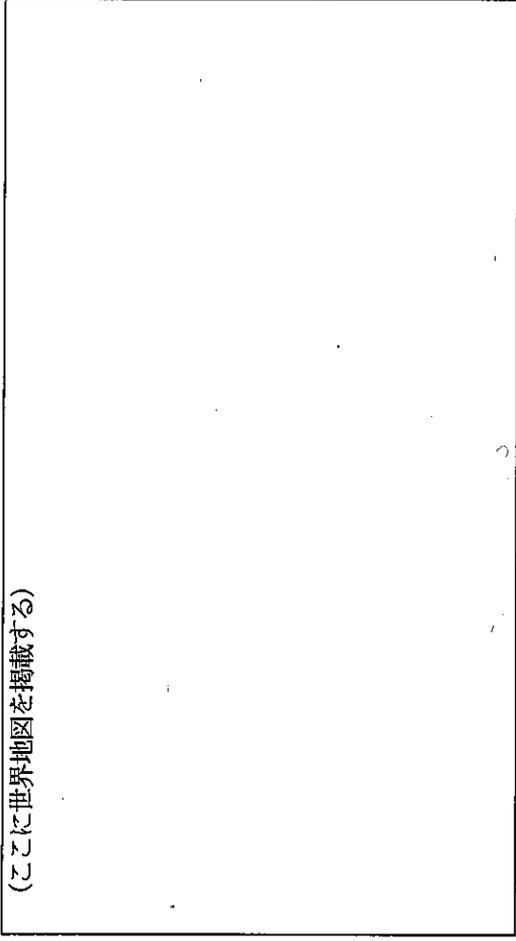
名作アニメの地理的見方

本日のテーマ 魔法の宅急便の舞台となった場所の気候区分をその根拠と共に導き出す。

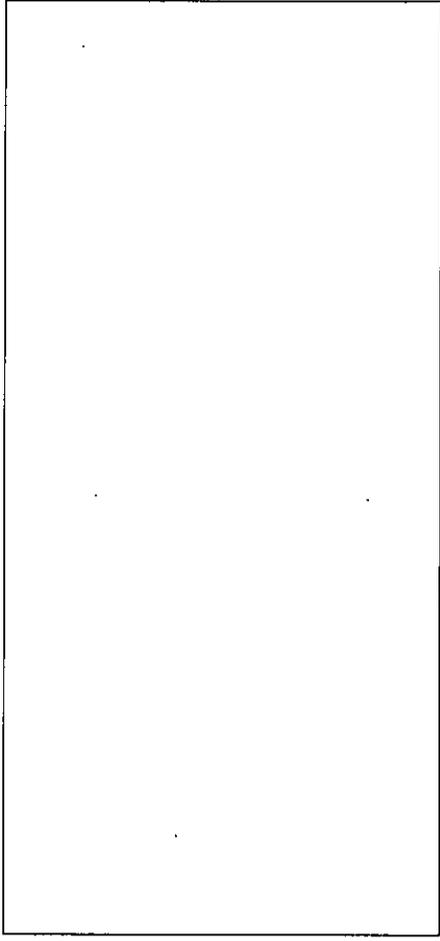
キキが活躍した舞台はどこ？

地図に書き込んでみよう！

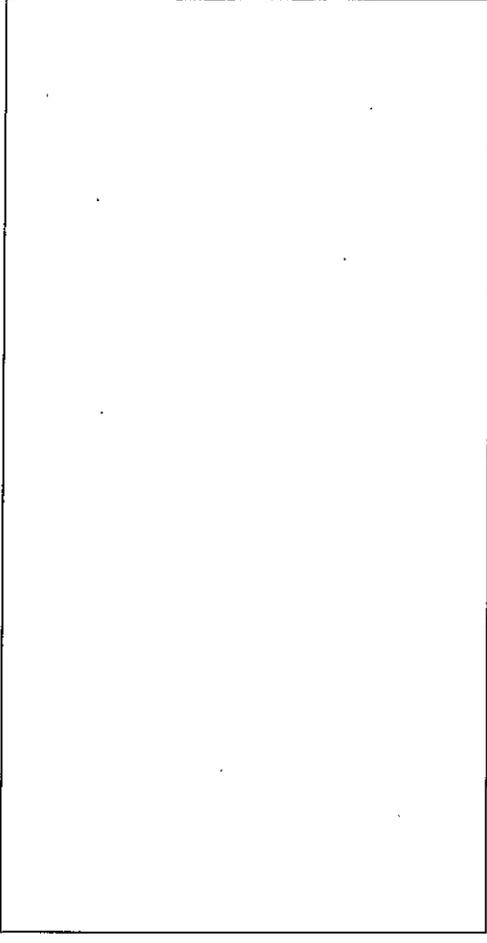
(ここに世界地図を掲載する)



なぜそう思ったのか？その根拠をあげてみよう。



他のグループに行って意見を交換してみよう！
自分と異なる意見とその根拠



最終的な結論とその根拠

